

令和8年9月1日

立教189年

9月号
第648号



発行所

天理教字仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

9月28～30日 全教一斉にをいがけデー



ウーニーバンド 鼓笛オンパレード 十七回目金賞受賞

散歩道

「災害級の暑さ」という言葉を、今年も何度耳にしたことでしょう。連日のように警戒アラートが伝えられ、外へ出ることさえためらう日もあります。暑さそのものが命に関わる時代となってしまいました▼こうした異常な暑さを前にすると、自然の力の大きさを感ずると共に、私たちにできることは何だろうと考えさせられます。自分自身が無理をしないことはもちろんですが、暑い中で働いている人や、一人で過ごしている高齢の方、体調を崩している人など、身近な誰かに「大丈夫ですか」と声を掛けることも、大切な心遣いではないでしょうか▼「人をたすけて我が身もたすかる」と教えていただく私たち。大きなことができなくても、目の前の人を思いやる小さな行いを積み重ねたいものです▼厳しい暑さを乗り越えつつある今、涼しい風に秋の訪れを感じながら、今日も元気に、周りの人と声を掛け合って暮らしていきたいものですね。

一理塚

今年も真夏の祭典「こどもおぢばがえり」が七月二十七日から八月三日までの八日間にわたって開催され、約十六万人あまりの方が帰参されました。期間中に「令和8年熊本地震」が発生し、九州からの帰参が危ぶまれる中、「こういう時だからこそ」と大変な状況の中をおして参加された教会もあると聞かせていただきました。その決意に敬意を覚えるとともに、十年前に引き続いての地震災害に傷つく熊本に心を寄せ、再びの復旧・復興にも、自分に出来ることを通して力を添えていきたいと思えます。また今年は、教祖百四十年祭の年ということもあり、海外二十の国や地域からも、昨年の約二倍にあたる八百六十八人が帰参されたそうです。天理時報には、行事の参加や鼓笛の演奏、ひのきしんなど、おぢばでの貴重な時間に精一杯汗を流し、楽しんでる様子が記されていました。

だいぶ前に聞いた話では、遠

い国の信者さんの中には、何年もかけて計画し、車や家売ってまで費用を捻出して、一生に一度のおぢばがえりを果たされたという方もおられるそうです。それに比べて、思い立ったらその日にでも、片道二時間ほどでおぢばがえりができる我が身の環境が、どれほど恵まれているのかを忘れないようにしたいと思います。

さて昨年の海外からの訪日者数は、史上初めて四千万人を突破し、過去最高を更新し、またある調査によると、「再び訪れたい国」としても圧倒的一位となったそうです。初めて日本を訪れる外国人は、四季折々の自然の景色や料理、観光名所、アニメの聖地巡礼等を楽しむ一方で、そこで目にする日本人にとっては当たり前の事に驚嘆するそうです。丁寧な接客にお礼のお辞儀。時間通りに動く電車やバス。静かに順番を待つ人々の列。落ちていくゴミの少なさやトイレの清潔さ。落とし物をしてほとんど物の返ってくることに、言葉が通じ

なくても一生懸命たすけてくれる人々。子どもだけで通学したり、夜でも一人で外出できる治安の良さ。もちろん日本も良い面ばかりではなく、裏の世界も存在しますが、それでも自国と比べ、またこれまで訪れた国と比べて「全然違う」という感想を述べる外国人が多いそうです。これは島国で鎖国した時代もあり、限られた土地や人的交流の中で、日本人が長年育んできた「和」を大切にす文化であると共に、そこには教祖の教えを実践してこられた先人先輩方の姿が影響を与えていると感じるのは、私だけでしょうか。

よく日本人は「平和ぼけ」していると言われる。それに輪をかけて平和なおぢばでは「天理ぼけ」などという言葉も耳にします。しかし、それは見方を換えれば、お互いに助け合い、安心して暮らす事ができている証明でもあります。世界から日本へ、そしておぢばへ引き寄せられた人々が、それぞれの国や地域に戻り、この安心感を伝えることになれば「天理ぼけ」も

大いに結構です。日本人が当たり前すぎて日本の良さや凄さに気付いていないように、天理教を信仰する私たちのほうが天理の良さや凄さに案外気付いていないのかもしれない。

みかぐらうたに、「みなせかいからだんく」ときたるだいくにをいがけ」(十二下り目3)とあります。教祖ご在世当時にはほぼ見かけなかったであろう海外からの人々が、今の日本には当たり前のように溢れています。そして「神がこの屋敷へ天下って七十五年たてば、日本あらあらずます。それから先は、世界隅から隅まで天理王命の神名を流す」とのおやさまのお言葉を胸に、海外へ渡られた先人の蒔いた種が実を結び、今年のこどもおぢばがえりの帰参者となって表れているのではないのでしょうか。そんな人々にも良いのをいが自然と伝わる人間になれるよう、日々の信仰生活を、当たり前のようで当たり前でない事を自覚しながら、当たり前に送っていききたいと思えます。

山南の丹波ゆりさん ご当地ソングで CDデビュー

高齢者施設などで音楽ボランティアとして活動する大物部分教会（喜多布教所）所属の丹波ゆり（藤原有理）さん。山南町が七月十八日、デビュー曲「丹波ふるさと応援歌」のCD発売キャンペーンをカラオケアテネで開いた。約五年間、宝塚市でボイストレーニングを学び、師匠の勧めでオリジナル曲に挑戦。丹波市六地域の名前や木の根橋、恐竜の里、丹波栗など、地域の名所や特産品が歌詞に登場する。親しみやすい「ハッチャコイハッチャコイ」の掛け声も特徴。初版CD一〇〇枚は完売し、「皆さんと楽しい時間を過ごしたい」と意欲を見せている。今後は市内のイベントや祭りでの歌唱も目指している。



こどもおちばがえり 団体引率・詰所ひのきしん お勤め頂きありがとうございました

道友社Instagramにて宇仁部内の隊の写真が掲載されました。



宇仁団・あらびき隊（大西脇・杉原谷合同隊）

杉原谷・大西脇合同隊



宇仁団・西脇隊

西脇隊



宇仁団
國延隊

國延隊

立教百八十九年の「宇仁詰所ひのきしん 教会別参加数」、
「こどもおちばがえり 帰参団体数」の詳しい詳細は、
右記のQRコードからご確認できます。



ウーニーバンド

十七回目の金賞受賞

八月一日、鼓笛オンパレードに出演しました。今回は『星に願いを』を演奏し、総勢十二名で心を合わせて演奏しました。これまでの練習の成果を発揮し、見事十七回目の金賞を受賞することができました。



また、同日に行われた鼓笛お供え演奏にも出演しました。総勢約一五〇〇名の仲間とともに、心を込めて演奏しました。



鼓笛オンパレードの演奏動画は、左のQRコードからアクセスして頂くご覧になることができます。(動画閲覧期間は九月末までですのでご注意ください)



大教会布教実動日(九月)

○第一回実動日

日時…九月五日(土)
九時～十一時半
場所…大教会
内容…神名流し、戸別訪問
持ち物…リーフレット
担当…高瀬仁史役員
(080-5369-11529)

○第二回実動日

日時…九月十五日(火)
十三時半～十五時
場所…大教会
内容…戸別訪問、ふりかえり
持ち物…リーフレット
担当…布教部

○第三回実動日

日時…九月二十四日(木)
教会長連絡会終了から
四十五分後神殿前集合
場所…大教会
内容…神名流し
午後の部(一三時半)
持ち物…はっぱ
担当…布教部

おぢば通信

七月のうごき

◎おさづけの理拝戴

兵庫中央 宮本 淳 至

◎七月帰参者 四二五名 (詰所調べ)

九月行事予定表

1～7日 教会長

にをいがけ週間

5日 大教会第一回布教実動日

9日 婦人会例会

13日 青年会例会

15日 大教会第二回布教実動日

22日 少年会例会

24日 大教会月次祭

午前十時三十分執行

26日 大教会第三回布教実動日

本部月次祭

午前九時執行

28～30日 全教一斉

にをいがけデー

婦人会より

◇大教会炊事当番

9月 神福A
10月 直 属
11月 神福B
よろしく
お願いします